

2024年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔数学〕〔数学演習〕	3年	3単位	教科書		副教材等	看護・医療系のための 数学Ⅰ・A(美教出版)	履修対象・ 使用教室等	フロンティア 3年4組教室
教科・ 科目 の 目標	(1) 数学と人間のかかわりや数学の社会的有用性についての認識を深めるとともに、事象を数理的に考察する能力を養い、数学を積極的に活用する態度を育てる。 (2) 数学Ⅰ及び数学Aにおける基礎的な学力を向上し、就職・進学に向けた一般常識問題を解くための知識を身につける。								
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	・基本的な概念、原理・法則、用語・記号など基礎的な知識を理解しているか。 ・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能が身についたか。			・数学的な見方や考え方の良さを認識し、事象を数学的にとらえ、論理的に考えることができるか。 ・身近な事象を数学化し、積極的に数学を活用しようとしているか。			・授業に集中し、他の生徒と共に協力し合いながら問題解決に取り組むことができるか ・家庭学習の習慣を身につけて、課題等の提出に積極的に取り組むことができるか。		
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとめごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換 算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト		前期・後期各2回、計4回			70	70		
	レポート		演習時に課される課題。			30	30	50	
	授業態度		授業を受ける姿勢。					50	
(観点別配分%)		(3観点の比重を%で示しています)							
月進行 〔計画〕	〔単元名〕 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標(到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕	
4 5	〔数学Ⅰ〕 数と式 2次関数	22	・整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して能率よく計算できるようにする。 ・関数とそのグラフについて理解を深め、2次関数のグラフの概形を描けるようにする。 ・2次関数の最大・最小について理解を深め、最大値や最小値を求める具体的な問題の解決に活用できるようにする。			単元テスト	○	○	
						レポート	○	○	
						授業態度			◎
6 7	〔数学Ⅰ〕 集合と論証 図形と計量	25	・集合の包含関係と関連付けて、必要条件、十分条件、必要十分条件、対偶、背理法などを学習することを通して、論理的な思考力を一層伸ばす。 ・三角比を用いた三角形の面積の公式や正弦定理・余弦定理について学習し、それらを用いて、平面や空間における図形の辺の長さや角の大きさおよび面積などを求められるようにする。			単元テスト	○	○	
						レポート	○	○	
						授業態度			◎
8 9	〔数学Ⅰ〕 データの分析 〔数学A〕 場合の数	18	・平均値・最頻値・中央値を求められるようにし、四分位範囲や分散、標準偏差について理解させる。 ・身近な例を用いて、2つのデータの相関を考察するために、散布図に表すことや相関係数で表すことができるようにする。 ・順列と組合せの意味を理解させ、その総数を求められるようにする。			単元テスト	○	○	
						レポート	○	○	
						授業態度			◎
10 11	〔数学A〕 確率 図形の性質	25	・独立な試行や反復試行の確率、条件つき確率を求め、それを事象の考察に活用できるようにする。 ・角の二等分線と辺の比の関係、重心、内心、外心などの性質を扱い、これらの図形の性質を図形の考察に活用できるようにする。 ・円に内接する四角形の性質および四角形が円に内接するための条件、円の接線と接点を通る弦となす角の性質を理解させる。			単元テスト	○	○	
						レポート	○	○	
						授業態度			◎
12 1	〔数学A〕 整数の性質	15	・素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解させる。 ・最大公約数や最小公倍数のいろいろな問題を理解させる。 ・除法の原理と剰余による整数の分類について理解させる。 ・除法の性質をもとにユークリッドの互除法の仕組みを理解させる。 ・不定方程式の解の意味について理解させる。 ・分数が有限小数または循環小数で表される仕組みを理解させる。			単元テスト	○	○	
						レポート	○	○	
						授業態度			◎
2 3						単元テスト			
						レポート			
						授業態度			
学習の アドバイス	・公式は暗記するだけでなく、それぞれの公式の意味を理解し、どう役に立つのかを考え、数学的な見方・考え方の良さを感じとれるようにしましょう。 ・解答は最終的な答えだけを重視するのではなく、どのように考え、どのような定理や公式を利用したか、どのように計算したかが明確になるように記述することを心がけましょう。 ・考査は授業及び日常の学習で培った学力を確認する場面になります。しっかりと復習し、確実に正解できる問題と正解を目指す問題を明確にすることで少しでも高い得点を目指しましょう。 ・考査後はできなかった問題を放置せずに弱点の克服に努めましょう。								